

平成27年度第3回政策会議

日時 平成27年9月18日（金）14:30～15:30
会場 市長会議室
参集者 工藤市長 中林副市長 片岡副市長 川越企業局長
山本教育長 高橋総務部長 入江財務部長

2 函館市地域公共交通網形成計画（案）について

◎対応 種田企画部長 本吉企画部次長 田畑計画推進室長
中村政策推進課長

◆ 議題の趣旨 ◆

函館市地域公共交通網形成計画（案）の策定について協議しました。

◆ 協議の結果 ◆

本件の内容は了承されました。

◆ おもな発言 ◆

■ 種田企画部長

函館市地域公共交通網形成計画案については、先月31日の函館市生活交通協議会です承を得たもので、本日の会議です承いただければ、来月、パブリックコメントを実施し、同時に市議会にも資料配布を行う予定である。

□ 中村政策推進課長

本市では平成26年5月に「函館市公共交通総合連携計画」を策定したところであるが、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部改正により、地域公共交通網形成計画の作成が規定され、本計画を策定することとなったものである。

計画策定の目的は、誰もがわかりやすく、便利で利用しやすい、将来にわたって持続可能な公共交通網の構築を目指すものであり、公共交通総合連携計画の考え方を踏襲し、公共交通にまちづくりや観光振興の視点を盛り込んだ計画となっている。

計画区域は函館市全域であり、計画期間は平成27年度から36年度までの10年間としている。

函館市の現状として、社会経済状況、公共交通の現状等、公共交通の利用並びに通勤、通学に関するアンケート調査による市民ニーズについて記載し、公共交通網形成にあたっての課題として「まちづくりの課題」、「交流人口拡大に向けた課題」、「公共交通の課題」について記載しており、公共交通の課題としてはバス路線網、利用環境、走行環境、利用状況について記載している。これら3つの課題に対応した施策の方向性として、まちづくりの方向性、観光振興の方向性、最後に公共交通の方向性を記載している。

これら施策の方向性を受けて、計画の基本理念を「まちづくり、観光振興と一体となった将来にわたって持続可能な公共交通網の構築」とし、計画の基本的な方針を、「まちづくりや観光振興との一体性の確保」、「地域特性に応じた効率的で利便性の高い公共交通網の形成」、「地域全体を見渡した総合的な公共交通網の形成」、「市民の協力を含む関係者の連携」とし、これに対応した主要施策として、「交通結節機能とサービスレベルの向上による、効率的で持続可能な交通ネットワークの構築」「地域の特性に応じた交通ネットワークの構築」、「交通機関相互の連携強化」、「新たな需要創出に向けた利用促進および市民意識の醸成」を挙げ、各実施施策について記載している。

達成状況の評価のための数値目標設定は形成計画で追加された記載事項であり、基本的な方針、主要施策、実施施策に対応した形で数値目標を設定し、内容としては、利用者減を人口減より低くすることや、路線再編によってバス事業の収支率を改善させること、交通拠点整備により各拠点の利用者数を増やすこと、利用者の満足度を向上させることなどとしている。

最後に達成状況の評価として推進体制とPDC Aサイクルによる検証・評価の手法を記載している。

■種田企画部長

特に意見等なければ、了承いただいたということで来月初めからパブリックコメントを実施し、計画を策定することとしたい。